

## 研究対象者の皆様へ

弊所では、オプトアウトを用いて下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、オプトアウトによる試料・診療情報等の利用または提供を希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (申請番号)	国内で多発するカンピロバクター食中毒の定量的リスク分析に関する研究(306)
研究責任者 (所属部)	朝倉 宏(食品衛生管理部)
他の研究機関及び 各施設研究責任者	坂田 淳子(所属:大阪健康安全基盤研究所)
オプトアウト事由	カンピロバクター食中毒患者の臨床疫学情報及び原因菌の定量的検出検査成績について、大阪健康安全基盤研究所において匿名化し、ご提供者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた情報を、下記の研究目的に利用させていただくことがあります。
研究の目的・利用 方法	我が国を含む先進諸国では、カンピロバクターによる食中毒が多発しており、その制御は公衆衛生上の喫緊の課題として認知されています。本食中毒のリスク管理に際しては、リスク評価に資する科学的知見の集積が必要不可欠ですが、我が国で集積される多くの汚染実態等に係る知見は定性知見が多くを占めており、直接的な評価へと結びつけることが困難な状況です。本研究では、食中毒発生時に保健所等からの依頼に基づき、実施される原因究明のための検査に際し、カンピロバクター食中毒患者の臨床情報を収集することで、発症菌数の推定のみならず、易感染性宿主の特性探知等、本食中毒の発生疫学をより深く探知し、本食中毒の定量的リスク評価に資する科学的知見の集積をはかることを目的としています。
利用し、又は提供 する試料・情報の 項目	●情報:匿名化されたカンピロバクター食中毒患者の臨床疫学情報(年齢、性別、症状、喫食歴、潜伏期、症状、治療の有無等)及び検査成績(発症菌数)
利用する者の範囲	当所の研究責任者並びに大阪健康安全基盤研究所の研究責任者と匿名化処理担当者
試料・情報の管理 について責任を有 する者の氏名また は名称	川津 健太郎(所属:大阪健康安全基盤研究所)
個人情報の取扱い 方法	大阪健康安全基盤研究所で匿名化された、食中毒患者の臨床疫学情報(年齢、性別、症状、喫食歴、潜伏期、症状、治療の有無等)及び検査成績の提供を受け、統計解析に用います。匿名化された疫学情報は研究終了後5年間保存致します。
研究資金	内閣府食品安全委員会「平成30年度食品健康影響評価技術研究」
お問い合わせ先	電話:044-270-6563 担当者:朝倉 宏(食品衛生管理部)
備考欄	